

平成30年度国民健康保険特別会計 3月補正予算概要

令和元年5月16日
多摩市国民健康保険運営協議会
資料3

1. 平成30年度3月補正の概要

歳入 被保険者数の減少により国税収入が56,908千円減少した。退職者数の減少及び70歳以上の1人当たり医療費の伸びの減、調剤・歯科の月別入院外来別金額の減少により対前年比で減少していることから保険給付費を減額した。(被保険者総数はH30.4末時点35,938人からH30.12末時点34,259人に減少(事業月報より))。

款	30年度当初	9月補正額	12月補正額	3月補正額	予算現額	当初からの増減率	増減要因
1 国民健康保険税	2,989,205	0	0	-56,908	2,932,297	-1.9%	徴収率(現年93.12%、滞納28.78%) 被保険者見込減少による減
4 使用料及び手数料	1	0	0	0	1	0.0%	
5 国庫支出金	1,078	0	0	942	2,020	87.4%	今年度申請額による、対象者の医療費増による
7 都支出金	10,865,460	0	270	-316,577	10,549,153	-2.9%	保険給付費の減に伴う
9 財産収入	1	0	0	0	1	0.0%	
11 繰入金	1,907,031	0	-2,464	-60,445	1,844,122	-3.3%	保険税の減、事務経費の減による
12 繰越金	1	6,332	476,331	0	482,664	48266300.0%	
13 諸収入	21,662	0	0	67,354	89,016	310.9%	延滞金収入、第三者納付金、返納金等の収入済額分
歳入合計(全体)	15,784,439	6,332	474,137	-365,634	15,899,274	0.7%	
法定外繰入を除いた歳入合計	14,718,377	6,332	474,137	-302,590	14,896,256	1.2%	

歳出 保険給付費については、前年度ならびに今年度の執行状況等から今後執行見込を精査し、レセプト費用額が外来入院種別通して-0.5%ながら被保険者数の減による効果が大きく、決算見込は対前年度比-2.67%と見込んだ。

款	30年度当初	9月補正額	12月補正額	3月補正額	予算現額(流用含)	当初からの増減率	増減要因
1 総務費	283,855	0	-2,194	-7,637	274,024	-3.5%	契約差金の計上による減
2 保険給付費	10,704,719	0	0	-355,478	10,349,241	-3.3%	被保険者数が4.67%減、調剤医療費等の減の影響により総額で減。但し80万円以上の高額レセプトの伸びが大きいため高額療養費は増。
3 国保事業費納付金	4,570,166	0	0	0	4,570,166	0.0%	
5 保健事業費	198,643	0	0	-2,519	196,124	-1.3%	特定健診の契約差金等計上による減
6 基金積立金	51	0	313,748	0	313,799	615192.2%	
8 諸支出金	22,001	6,332	161,083	0	189,416	760.9%	
9 共同事業拠出金	4	0	0	0	4	0.0%	
12 予備費	5,000	0	1,500	0	6,500	30.0%	
歳出合計(全体)	15,784,439	6,332	474,137	-365,634	15,899,274	0.7%	

2. 一般会計繰入金の内訳

款	項目	30年度当初	9月補正額	12月補正額	3月補正額	予算現額	当初からの増減率	増減要因
11	繰入金							
	1 一般会計繰入金	1,907,031	0	-2,464	-60,445	1,844,122	-3.3%	
	1 基盤安定(軽減)	293,985	0	0	25,026	319,011	8.5%	均等割額改定による増額分を反映していなかったことによる増
	2 基盤安定(支援)	210,002	0	0	-1,944	208,058	-0.9%	被保険者数の減による
	3 職員給与等繰入金	300,582	0	-2,464	-9,400	288,718	-3.9%	契約差金の計上に伴う繰入対象費用の減
	4 出産育児一時金	36,400	0	0	-11,083	25,317	-30.4%	対象人数見込の減
	5 その他一般会計繰入金	1,066,062	0	0	-63,044	1,003,018	-5.9%	歳入歳出額精査に伴う赤字補填費用の減による